

OSBEELS (オレゴン州試験ボード) のExaminations & Qualifications Committee (試験資格審査委員会) の議事録と、(Washington) Board of Registration for Professional Engineers and Land Surveyors (ワシントン州登録ボード) の議事録の内容をお知らせします。今回は、オレゴン州は2015年8月14日及び10月9日分の内容をチェック。ワシントン州は2015年10月の議事録から、受験者・登録者に関連する記事をピックアップしてお届けします。

## オレゴン州

### (8月14日)

#### ・ 6月12日の会議からの継続案件

(再掲) Electrical PE、1987年のArizona州ボード議事録に登録の記録はあるがPE試験のデータがない。FE受験がArizona州登録より後であり、委員より委員会に、このまま登録することはできないと報告。SB 297可決後であれば、PE再申請できる可能性がある。委員会ではSB 297の内容が申請者に伝わっているという前提で、このまま進めることはできないとその申請者に連絡することにした。その後、試験についての情報が得られOregon州登録の要件を満たすことが判明 ➡ Comity登録を許可。

#### ・ 4月10日の会議からの継続案件。

(再掲) Civil PE、申請内容からはWashington州ボードに何らかの違反を指摘されたことが窺われた。彼の事由ファイルは同州ボードの資格適合性モニタープログラムからは除かれているとのこと。同州からはカレッジの科目を履修することを求められているようであり、委員会ではその履修が証明されない限り、登録を認めない方針である。Washington州ボードからは、洪水などへの対策を含む、ダム等に係る技術サービスについて登録時に制限を設けられており、それを取り除くために履修証明を求められていた。OSBEELSもComity申請受理のために同様の書類提出を求めたが、期限までに提出されなかった ➡ Comity申請許可せず。

#### ・ 6月12日の会議からの継続案件。

(再掲) 2015年4月あるFE受験申請者が、申請書の「Are you currently practicing or offering to provide engineering, land surveying, or photogrammetric mapping services for projects in Oregon?」という質問に「Yes」と回答していた。本人に確認したところ、ある会社で電気エンジニアとして勤務していた、との回答だった。委員会では更に確認することとした。(筆者注：米国では「エンジニア」を名乗りエンジニアリング業務を行うことができるのはPEのみであるので、申請時には注意を要する)委員会からは注意喚起を促すレターを申請者に送ることを決定した。

- 大学卒業見込みでFE/FLS (Fundamentals of Land Surveying) 受験申請をした受験者12名につき、卒業証明を送付してこなかったため、試験スコアを無効とする措置を行う。

### Comity (他州PE のOregon 州登録) 申請

- Mechanical PE、5 通のリファレンスにより4 年8 か月のIntel 勤務でのエンジニアリング経験を証明、PE による直接指導 (supervisory/supervise) を証明するリファレンスは無し。但し1 年7 か月の経験は、非PE による直接指導のリファレンスにより証明 ➡ Comity 許可。  
(筆者注：このような議事に社名が登場することは殆どないのですが、わざわざ「Intel」と書かれていることから、米国でもやはり、超有名企業に勤務していることはComity 要件判断の上で一定の影響があるのでは、と想像しました)
- Environmental PE、5 通のリファレンスにより13 年5 か月のエンジニアリング経験を証明、3年3 か月の経験は直接指導のPE リファレンスにより証明。彼は直接指導の PE リファレンスについて軽減措置を求め、また学位のNCEES の履修評価を免除するよう要望した。委員会ではこれを拒否し、更に12 年以上のエンジニアリング業務について、これがテクニシャンの業務ではないことを証明するよう詳細な説明を求めた。
- Chemical PE、教育記録が要件を満たすとしてComity 許可。
- Agricultural PE、1977 年にCalifornia 州で「grandfather clause (祖父 [既得権] 条項)」により登録され、当時からOregon 州では要件となっているNCEES の試験を受けていない ➡ Comity 申請許可せず。
- Civil PE、ライセンス失効中にエンジニアリング業務を行ったとして2010 年にMaryland 州ボードから懲罰措置を受けている ➡ Comity 許可。

### PE 登録申請 (他州登録なし)

- Civil、直接指導のPE リファレンスにより6 年11 か月のエンジニアリング業務経験を証明。但し1 年7 か月の経験は、直接指導の非PE リファレンスにより証明。NCEES の履修評価では数学・基礎科学で2 単位不足している。履修/経験のマトリックスにより評価 ➡ 登録許可。
- Civil、直接指導のPE リファレンスにより4 年3 か月のエンジニアリング業務経験を証明。NCEES の履修評価では数学・基礎科学、特に一般化学の履修が不足している。履修/経験のマトリックスにより評価した結果、委員会ではこの申請者に、更に1 か月のエンジニアリング業務経験があることを証明する、直接指導のPE リファレンスを要求 ➡ この情報が提示されれば登録許可となる。
- Civil、直接指導のPE リファレンスにより4 年7 か月のエンジニアリング業務経験を証明。NCEES の履修評価では数学・基礎科学で2 単位不足している。履修/経験のマトリックスにより評価 ➡ 登録許可。
- Electrical、リファレンスにより11 年4 か月のエンジニアリング業務経験を証明。但し直接指導のPE リファレンスは無し。更に、NCEES の履修評価では数学・基礎科学、特に一般化学で1単位不足している。委員会では、それぞれのリファレンスにおけるコメントが似通っていることを問題視 ➡ 委員会ではリファレンスを全て手書きとし、公式な英訳を付けた上で再提出、また申請者のエンジニアリング業務の更に詳細な記述を提出するよう求めた。

## **(10 月9 日)**

### PE 登録申請

Civil、申請書の「これまでにPE 等の登録につき、いずれかの管轄州で拒否、取消、保留、放棄、規定、試行扱い等になったり、制限、懲罰の対象となったりしたことがありますか」との問いに「Yes」と回答。申請者によると、2009 年にColorado 州ボードへの更新申請をすっかり忘れていたとのことである。失効期間中にエンジニアリング業務を行っていたが、失効に気づいてすぐにColorado 州ボードにコンタクトしていた ➡ 登録許可。

Civil、NCEES の履修評価では数学・基礎科学で9 単位不足している。直接指導のPE リファレンスにより10 年7 か月のエンジニアリング業務経験を証明。履修/経験のマトリックスにより評価 ➡ 登録許可。

## **ワシントン州**

(10 月8 日 Special Board Meeting)

### PE 受験申請 (特別な事情のあるケース)

- 1 ケースをレビュー、受験許可せず

### PE Comity 申請 (特別な事情のあるケース)

- 1 ケースをレビュー、登録許可